

北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校
令和6年11月27日発行
文責：校長 上田 敏浩

人生の伴奏者

読書をするきっかけになったのは、高校1年生の時の休み時間、同級生の何気ない問いかけだった。

「最近、何読んでる？」

ふだんはスポーツに明け暮れている姿を知っていたが、本を読むなどとは思ってなかった。特に何も読んでいなかったのも、何も読んでいないと答えると、彼は森鷗外について熱く語り始めた。

何も語れない恥ずかしさを感じた。それまでほとんど読書習慣のなかった者にとって、何から読み始めるかは、大きな問題だった。

学校の帰り、書店に立ち寄り、一番薄くて安い文庫本を買った。

それから一週間に一冊くらいのペースで本を読んだ。国語の授業が面白かったことや、読むことの面白さに引き込まれ、少し難しい本、分厚い本も読んでみようと思った。ある日手にしたのは、ドストエフスキーの『罪と罰』（上・下巻）だった。文庫二冊で八百ページを超える作品である。休み前日の夜から下巻を読み始めたのだが、展開に引き込まれ、途中でやめられなくなった。気がつけば、夜が明けていた。

高校三年生になって、とある大学を受験した時、面接で「最近読んだ本は？」と尋ねられた。（今はこういう質問はしない。）その頃は読書する余裕がなかった。最後に読んだのは、遠藤周作の『沈黙』だったのを思い出して『沈黙』を読んだと答えた。すると、いろいろと詳しく聞かれ、うまく答えられなかった。試験結果は、作品名の通りとなった。

自分の人生のいたるところに、本の存在がある。悩んだ時のヒントをくれたり、架空の人々の物語に心を動かされたり、いろいろと考えたり。世の中は手軽に楽しませてくれるものであふれているが、時には自分から本の世界に入って、自分の世界を広げてみてはどうだろうか。スマホやゲームの画面をいったん閉じて、本のページを開いてみるのもいいのではないかなと思う。

本は人生の伴奏者である。読み手が奏でる人生の音色を、より豊かにしてくれる。

いのちの学習

11月5日（火）、命の大切さを理解し、親の思いや役割を知る等の目的で、3年生の「いのちの学習」を行いました。当日は、市のこども未来課から助産師さんを招き、赤ちゃん人形抱っこ体験・妊婦体験をしました。その後、助産師の松川様より講演をしていただきました。生徒たちは、慣れない手つきで赤ちゃん人形を抱っこし、おしめ取り換えや肌着替えを行いました。自分の命を大切にすることはもちろんのこと、他人の命も大切にすることをあらためて学ぶ、良い機会となりました。



妊婦さんの体験



あやすのは難しい…



着せるのも一苦労

祝！ 南島原市商工会会長賞 受賞 ～中学生「税についての作文」～

令和6年度中学生の「税についての作文」コンクールで、3年生の竹市秀太郎さんが書いた作品が、南島原市商工会会長賞を受賞しました。島原半島内で18校851編の応募があり、入賞は22作品でした。

祝！ 北村西望賞 受賞 ～中村一翔さんの作品『王者の風格』～

第18回南島原市北村西望賞教育美術展立体の部において、2年生中村一翔さんの作品『王者の風格』が、北村西望賞に選ばれました。17日（日）には表彰式が行われました。

本校からは、他にも入賞者がいましたので、紹介します。

【平面の部 特選】

3年 野田 忠義 さん 2年 岡野 壮真 さん

【平面の部 入選】

3年 池田 茜 さん 谷口 琉叶 さん

2年 城代 璃音 さん 飛永 翔太 さん

1年 川上 新菜 さん 菅藤 世奈 さん

城谷 連唯 さん

【立体の部 入選】 3年 黒岩 結衣子 さん 小松 美希 さん 濱崎 陽葵 さん

2年 佐原 彩巴 さん 中村 源路 さん

1年 伊藤 真仁 さん 渡邊 葵 さん



表彰式の様子



『王者の風格』

ペタンク大会開催

16日（土）午後から、有家町総合グラウンドで南島原市PTA 連合会主催のペタンク大会が開催されました。スーパーショットがあるかと思えば、思わぬ方向に転がったり。和気あいあいとした中で、秋のひとときを楽しみました。当日は多くの方に御参加いただき、ありがとうございました。



2年生修学旅行

18日（月）～20日（水）の3日間、福岡県を主な訪問地として、2年生の修学旅行を実施しました。

初日は、大刀洗平和記念館・太宰府天満宮・いのちのたび博物館・JICA 九州を訪問しました。JICA 九州では、諸国の人々との関わりについて、ワークショップ学習等を行いました。2日目は、キッザニア福岡での職業体験・福岡市内の自主研修を行いました。職業体験では、既存の会社だけでなく、社会問題を解決するアイデアを考える会社もあり、多くの仕事を体験することができました。自主研修では、自分たちで決めたコースを訪問することができました。3日目は、グリーンランドやフェリーでのカモメへの餌やりで、楽しいひと時を過ごしました。

生徒たちは訪問先で今日的課題の解決や進路についての学習を深めることができました。また、各活動を通して、学年の連帯感も高まり、有意義な修学旅行になったと感じます。今後の学校生活にも生かしてくれるものと期待しています。



大刀洗平和記念館



いのちのたび博物館



JICA 九州（発表）



握り寿司に挑戦



眼鏡づくりを体験



社会問題の解決に向けて



自主研修（大濠公園）



最後はカモメが見送り